2023年８月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年１月13日

上場会社名	株式会社アスタリスク	上場取引所	東
コード番号	6522	URL	https://asx.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役執行役員社長	(氏名)	鈴木 規之
問合せ先責任者	(役職名) 取締役執行役員管理統括室長	(氏名)	山本 和矢　(TEL)050-5838-7864

四半期報告書提出予定日　2023年１月13日　配当支払開始予定日　―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有

四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2023年８月期第１四半期の連結業績（2022年９月１日～2022年11月30日）

（１）連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年８月期第１四半期	316	△56.8	△51	―	△40	―	△35	―
2022年８月期第１四半期	732	―	80	―	87	―	62	―

(注)包括利益　2023年８月期第１四半期　△30百万円(　―%)　2022年８月期第１四半期　64百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年８月期第１四半期	△4.99	―
2022年８月期第１四半期	9.55	9.06

（注）１．当社は、2021年８月期第１四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年８月期第１四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

２．当社は、2021年11月27日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前第１四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年８月期第１四半期	2,315	2,041	88.2
2022年８月期	2,519	2,072	82.2

(参考)自己資本　2023年８月期第１四半期　2,041百万円　2022年８月期　2,072百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年８月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2023年８月期	―				
2023年８月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2023年８月期の連結業績予想（2022年９月１日～2023年８月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	1,056	△23.1	△0	―	△0	―	5	△96.7	0.85
通期	2,906	20.7	443	10.9	443	△6.3	314	△2.5	45.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．８「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年８月期１Ｑ	7,055,400株	2022年８月期	7,055,400株
②　期末自己株式数	2023年８月期１Ｑ	－株	2022年８月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2023年８月期１Ｑ	7,055,400株	2022年８月期１Ｑ	6,516,100株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2022年９月１日～2022年11月30日）においては、世界的に広がる新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、社会活動に緩やかな回復の兆しがみられる状況になりましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の進行、ウクライナ情勢の長期化など、先行きは依然不透明な状況が続いております。このような状況の下、当社グループは「モノ認識」と「モバイル」を軸とした事業展開を行ってまいりました。バーコードリーダー、ＲＦＩＤリーダー／ライター、赤外線通信リーダーなどの「AsReader」の販売と、当該製品を活用するためのアプリケーションやシステムの提供により、お客様のＤＸを推進、省力化・効率化を進めてまいりました。また、次期主力製品のための画像認識技術の研究・開発を進めております。顔認証技術を活用した製品「AsReaderGoMA」は2023年８月期中の上市に向けて最終調整に入っております。

また「事業計画及び成長可能性に関する事項について記載した書面」に記載のとおり、次の成長戦略を実行してまいりました。

（既存主力事業）

主にバーコードリーダーのハード及び保守メンテナンス売上、受託開発の進捗売上及びシステム保守売上を計上する結果となりました。

（新製品の開発／販売）

顔認証技術を活用した新製品「AsReaderGoMA」の最終調整に入っております。

（営業力の強化）

大手キャリア様との協業体制を強化し、継続して案件の御紹介をいただいております。

（海外展開）

当第１四半期連結会計期間においては新規の大口納入はなかったものの、海外大手飲料メーカーからの追加注文が発生。第２四半期連結会計期間以降に納入を進めていく予定としております。

以上の取り組みの結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高316,766千円(前年同期比56.8%減)、営業損失51,596千円(前年同期は80,850千円の営業利益)、経常損失40,134千円、(前年同期は87,558千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失35,188千円(前年同期は62,228千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(AsReader事業)

AsReader事業の連結売上高は201,150千円(前年同期比66.5%減)、セグメント損失は23,074千円(前年同期は115,374千円のセグメント利益)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、製造業界、自動販売機業界、医療業界への販売が堅調に推移しました。海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。

(システムインテグレーション事業)

システムインテグレーション事業の連結売上高は115,616千円(前年同期比12.2%減)、セグメント利益は18,345千円(前年同期比37.0%減)となりました。物流業界向け、小売業界向けなどのシステム開発の受注があり、一部で進捗が遅れている案件もありますが、概ね堅調に推移しました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、2,315,575千円となり、前連結会計年度末の2,519,553千円と比べ、203,977千円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少291,829千円、売掛金及び契約資産の減少83,688千円、無形固定資産の増加10,836千円、商品及び製品の増加62,691千円、投資有価証券の増加101,250千円によるものです。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は、274,201千円となり、前連結会計年度末の447,333千円と比

べ173,131千円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等の減少98,348千円、買掛金の減少66,045千円、製品保証引当金の減少12,553千円によるものです。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,041,374千円となり、前連結会計年度末の2,072,219千円と比べ30,845千円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少35,188千円によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第１四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2022年10月14日の「2022年８月期 決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年８月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	936,086	644,256
売掛金及び契約資産	328,675	244,987
商品及び製品	276,415	339,106
原材料及び貯蔵品	44,080	49,098
その他	70,723	59,286
貸倒引当金	△2,905	△2,079
流動資産合計	1,653,075	1,334,655
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,993	1,993
減価償却累計額	△642	△691
建物附属設備（純額）	1,351	1,301
車両運搬具	641	641
減価償却累計額	△641	△641
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	134,086	139,536
減価償却累計額	△122,926	△126,743
工具、器具及び備品（純額）	11,160	12,793
土地	292,589	292,589
建設仮勘定	380,076	380,076
有形固定資産合計	685,177	686,760
無形固定資産	17,593	28,430
投資その他の資産		
投資有価証券	104,000	205,250
その他	60,060	60,833
貸倒引当金	△355	△355
投資その他の資産合計	163,705	265,728
固定資産合計	866,477	980,919
資産合計	2,519,553	2,315,575
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,265	97,220
未払法人税等	116,868	18,520
賞与引当金	43,710	53,323
製品保証引当金	17,245	4,691
受注損失引当金	4,781	3,612
その他	99,818	95,188
流動負債合計	445,689	272,558
固定負債		
資産除去債務	1,643	1,643
固定負債合計	1,643	1,643
負債合計	447,333	274,201

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年８月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	789,412	789,412
資本剰余金	779,412	779,412
利益剰余金	501,633	466,445
株主資本合計	2,070,458	2,035,270
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,761	6,103
その他の包括利益累計額合計	1,761	6,103
純資産合計	2,072,219	2,041,374
負債純資産合計	2,519,553	2,315,575

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2021年９月１日 至　2021年11月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2022年９月１日 至　2022年11月30日）
売上高	732,625	316,766
売上原価	465,100	217,700
売上総利益	267,525	99,066
販売費及び一般管理費	186,674	150,662
営業利益又は営業損失（△）	80,850	△51,596
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	7
為替差益	6,506	10,630
雑収入	330	823
営業外収益合計	6,839	11,462
営業外費用		
支払利息	23	－
雑支出	108	－
営業外費用合計	132	－
経常利益又は経常損失（△）	87,558	△40,134
特別利益		
補助金収入	125	2,016
その他	5	－
特別利益合計	130	2,016
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	87,688	△38,118
法人税、住民税及び事業税	15,693	△1,987
法人税等調整額	9,767	△942
法人税等合計	25,460	△2,929
四半期純利益又は四半期純損失（△）	62,228	△35,188
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	62,228	△35,188

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2021年９月１日 至　2021年11月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2022年９月１日 至　2022年11月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	62,228	△35,188
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,862	4,342
その他の包括利益合計	1,862	4,342
四半期包括利益	64,090	△30,845
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,090	△30,845
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。